



岡本太郎美術館 企画展「TARO賞の作家Ⅲ 境界を超えて」 JR南武線等での車内広報を実施します

- 岡本太郎美術館では、企画展「TARO賞の作家Ⅲ 境界を超えて」を開催中。
* 会期：1月14日(日)まで。なお、月曜日(1月8日除く)、年末年始、1月9日(火)は休館
- 本展覧会は、岡本太郎の精神を継承し、自由な視点と発想で現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰すべく創設された「岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」の受賞作家による選抜展で、今回で3回目を迎えます。
- 今回の出展作家3人（内海聖史^{うちうみさとし}、大西康明^{おおにしやすあき}、若木くるみ^{わかき}）の持つ独自の世界観を伝えるため、作家ごとに各自の作品を掲載した3種類のポスターを作成し、JR南武線等の車内に掲出します。

1 掲出内容・場所

- 企画展「TARO賞の作家Ⅲ 境界を超えて」の開催を周知するポスター(B3)を、出展作家ごとに3種類作成し、JR南武線（JR鶴見線含む）の各車両内に、いずれかの作家のポスター1枚を掲示し、計430枚を掲出します。
- また、生田緑地中央広場にある客車内にも掲出(約60枚)していきます。

2 掲出期間

- 令和5年12月1日(金)～12月31日(日)

3 掲出するポスター



絵画の見せ方にこだわる内海聖史。展示室の空間を大胆に使い、来館者に「絵画を見る」とは何かを問う。



大規模なインスタレーション作品に挑む大西康明。当館ならではの岡本太郎作品とのコラボは必見。



パフォーマンス作品で評価の高い若木くるみ。原点の「版画」の可能性に挑み、身近にある素材を活かしたユーモア溢れる作品を披露。



生田緑地中央広場にある客車内のポスター掲出場所全面に掲出。

問合せ先
川崎市市民文化局川崎市岡本太郎美術館 佐々木
電話 044-900-9898